IPSiO Color 8150 スキャナーユニット タイプ8100対応版

使用説明書
〈システム設定編1〉

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

■ はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず＜安全上のご注意＞をお読みください。

株式会社リコー

使用説明書＜システム設定編2＞（PDFファイル）では、「プリントサーバーの準備方法」、「ドキュメントボックスの概要と設定方法」、「操作部の使用方法」、「Redoc IO AdminやWebブラウザによる監視と設定方法」などを詳しく説明しています。ご参照ください。

複製、印刷が禁止されているもの

- 本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。
- 1. 複製、印刷することが禁止されているもの
- （見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

* 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
* 日本や外国の郵便切手、印紙

☛（関係法律）

  - 紙幣類似証券取締法
  - 通貨及証券模造取締法
  - 郵便切手類模造等取締法
  - 印紙等模造取締法
  - （刑法 第１４８条 第１６２条）

- 2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

* 外国の紙幣、貨幣、銀行券
* 株券、手形、小切手などの有価証券
* 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
* 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

☛（関係法律）

  - 刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
  - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

- 3. 著作権法で保護されているもの

* 著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

商標

- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- Macintosh、AppleTalkは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- HP-GL、HP-GL/2、HPRTLは、米国Hewlett-Packard社の商標です。
- IBM、DOS/Vは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

この本の読みかた

おもなオプションと略称

本書では、スキャナーユニットを装着したIPSiO Color 8100について説明します。

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

- 500枚給紙テーブル　タイプ8000→500枚給紙テーブル
- 1000枚給紙テーブル　タイプ8000→1000枚給紙テーブル
- 2000枚給紙テーブル　タイプ8000→2000枚給紙テーブル
- 2000枚フィニッシャー　タイプ8000→2000枚フィニッシャー
- 両面印刷ユニット　タイプ8000→両面印刷ユニット
- サイド排紙トレイ　タイプ8100→サイド排紙トレイ
- SDRAMモジュールII 64Mバイト→64Mバイトメモリー
- SDRAMモジュールII 128Mバイト→128Mバイトメモリー
- SDRAMモジュールII 256Mバイト→256Mバイトメモリー
- PS3モジュール　タイプC→PS3モジュール
- RPGL/2モジュール　タイプC→RPGL/2モジュール
- マルチモジュール　タイプC→マルチモジュール
- モノクロエミュレーションモジュール　タイプC→モノクロエミュレーションモジュール
- 拡張1394ボード　タイプC→拡張1394ボード

目次

1. 各部の名称とはたらき

前面・右側面 3
側面 5
背面 6
プリンター本体内部 7
操作部 8
操作画面の構成 9
操作画面を切り替える 13

2. 本機を使うための準備

パソコンと接続する 15
パラレル接続する 15
ネットワークに接続する 16
IEEE1394インターフェースに接続する 18
電源の入れかた、切りかた 19
主電源の入れかた 19
電源の入れかた 20
電源の切りかた 20
主電源の切りかた 21
ネットワーク環境の設定について 22
ネットワーク環境を設定する 22
操作部を使って設定する 23
テスト印刷する 28

3. プリンター環境別セットアップガイド

プリントサーバーを使う場合 29
Windows 2000/Windows NT 4.0サーバーを使って印刷する 29
NetWareのプリントサーバーを使って印刷する ... 30
プリントサーバーを使わない場合 32

4. 複合機能の操作

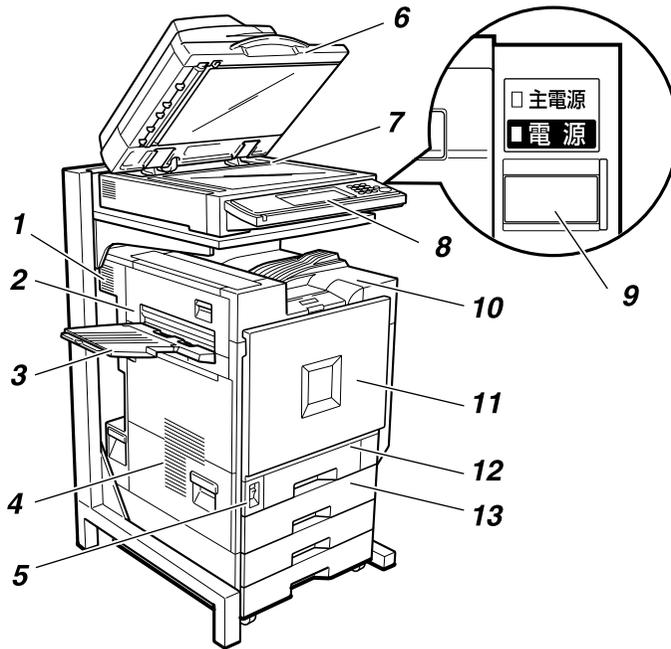
コピーとして使う 33
コピーに切り替える 33
ほかの機能を中断してコピーする 33
ドキュメントボックスとして使う 35
ドキュメントボックスで印刷する 35
ドキュメントボックスに蓄積する 35
ほかの機能を中断して蓄積する 36
ファクスとして使う 37
ファクスに切り替える 37
プリンターとして使う 38
プリンターに切り替える 38
プリンターから印刷する 38
スキャナーとして使う 39
スキャナーに切り替える 39
ネットワークTWAINスキャナーで読み取る 39
ネットワーク配信スキャナーで読み取る 39
文書をドキュメントボックスに蓄積する 39
ほかの機能を中断してスキャンする 40
マルチアクセス 42

5. 付録

搭載されているソフトウェアの著作権に関する情報 ... 45
expat(Version 1.1)について 45
NetBSDについて 45
JPEG LIBRARYについて 46

索引 47

1. 各部の名称とはたらき

前面・右側面

1. **排気口／防じんフィルター**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気を排出します。物を立て掛けたりして、排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。内部の防じんフィルターを交換するときには、排気口の防じんカバーフィルターを取り外します。

2. **プリンター本体左上カバー**

つまった用紙を取り除くときや、定着ユニットを交換するときに開けます。

3. **プリンター本体左上排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷された面を上にして排出されます。

4. **吸気口**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気を取り入れます。物を立て掛けたりして、吸気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

5. **主電源スイッチ**

主電源のON/OFFを切り替えます。「Off」にすると「主電源」のランプが消灯し、完全に電源が切れます。通常は手を触れないでください。

6. **原稿カバー／自動原稿送り装置**(ADF)**（オプション）**

一度にセットした複数枚の原稿を1枚ずつ自動的に送ります。

7. **原稿ガラス**

原稿をセットします。

8. **操作部**

キーや操作画面のボタンを使用して各アプリケーションを操作したり、画面表示で動作状態を確認します。

⇒ P.8 「操作部」

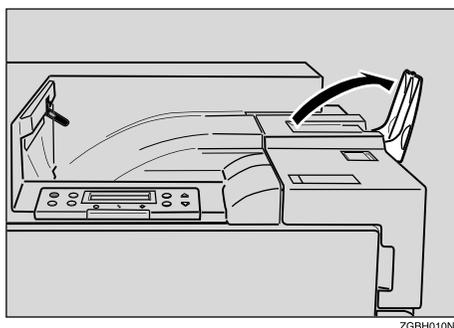
***9.* 【電源】キー**

通常使用できる状態とスリープモードを切り替えるときに使用します。キーを押して電源ランプを点灯させると、通常の使用ができる状態になります。消灯させるとスリープモードになります。

***10.* プリンター本体排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷された面を上にして排出されます。

補足

- ❒ 印刷されたA3や11×17の用紙が本体排紙トレイから落下する場合は、フェンスを起こしてください。

ZGBH010N

***11.* プリンター本体前カバー**

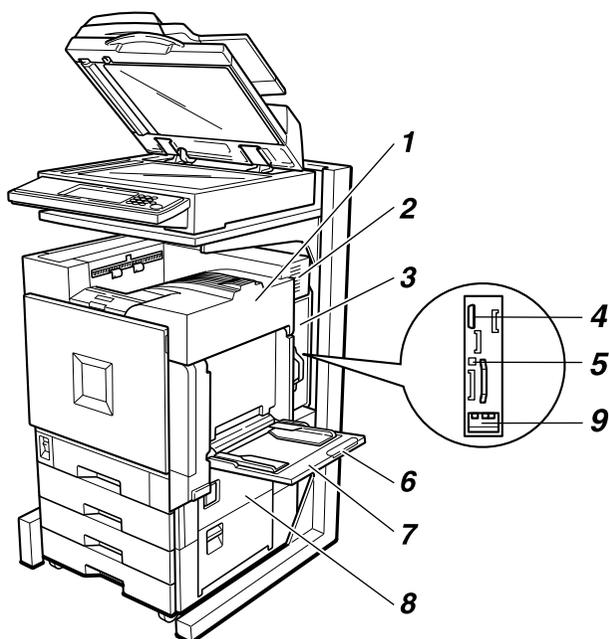
現像ユニットや感光体ユニットを交換するときに開けます。プリンター本体前カバーに専用ねじ回しが格納されています。

***12.* 給紙トレイ1（標準）**

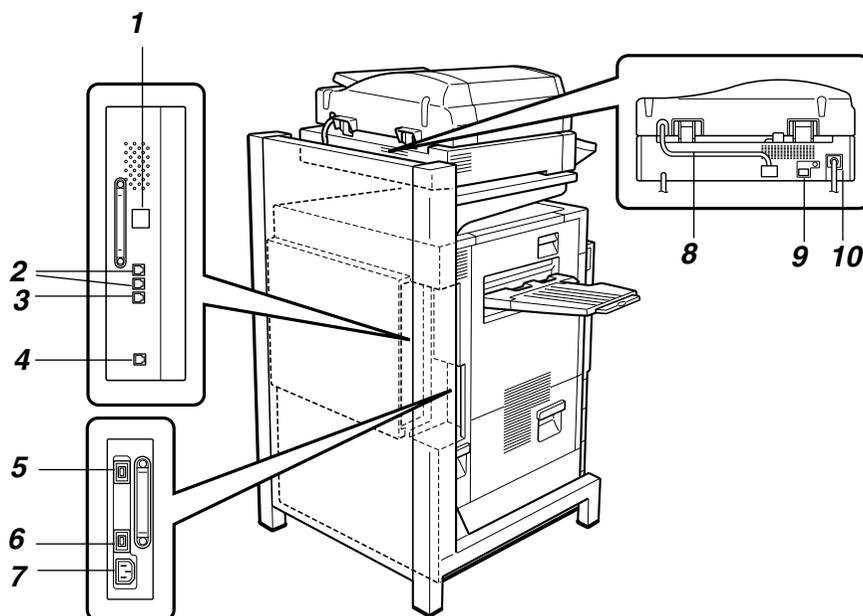
用紙をセットします。普通紙で最大550枚までセットできます。A4▯ 専用の給紙トレイです。

***13.* 給紙トレイ2（標準）**

用紙をセットします。普通紙で最大550枚までセットできます。

側面

1. **プリンター本体右上カバー**
   トナーをセットするときに開けます。
2. **排気口**
   機械内部の温度上昇を防ぐために、空気を排出します。物を立て掛けたりして、排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。
3. **コントローラーボード**
   SDRAMモジュールや拡張エミュレーションモジュールなどを取り付けるときに、このボードを引き出します。
4. **パラレルインターフェースコネクター**
   プリンターとパソコンを接続するパラレルインターフェースケーブルを接続します。
5. **イーサネットケーブルコネクター**
   プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。
6. **用紙支持板**
   A4▭より大きい用紙を手差しトレイにセットするときに、この支持板を引き出します。
7. **手差しトレイ**
   普通紙の他に、厚紙、OHPフィルムや不定形サイズの用紙などに印刷するときに使用します。普通紙で最大100枚までセットできます。
8. **プリンター本体右下カバー**
   つまった用紙を取り除くときに開けます。
9. CSS**回線接続端子**
   使用説明書<保守･運用編スキャナーユニットタイプ8100対応版>「カウンター検針について」を参照してください。

背面

1

1. ISDN**接続端子（オプション）**

⇒使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「ISDNと接続する」

2. **ハンドセット・外付け電話機接続端子**

⇒使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「電話回線および電話機との接続」

3. G3 **回線接続端子**

⇒使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「電話回線および電話機との接続」

4. **増設**G3 **回線接続端子（オプション）**

⇒使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「電話回線および電話機との接続」

5. **両面印刷ユニット用コネクター**

両面反転ユニットのケーブルを接続します。

6. 2000**枚フィニッシャー用コネクター**

2000枚フィニッシャーのケーブルを接続します。

7. **プリンター本体電源コネクター**

プリンター本体に電源ケーブルを接続するためのコネクターです。電源ケーブルの片方はプリンター本体電源用コネクターに差し込みます。

8. ADF**接続用ケーブル**

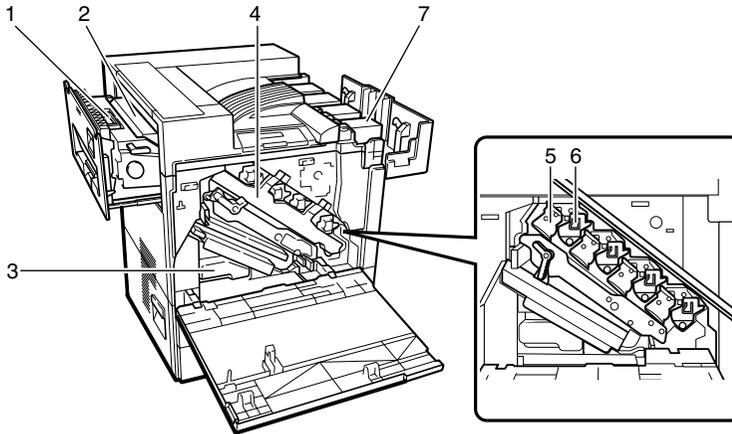
スキャナーユニットと ADF を接続するケーブルです。

9. **プリンター本体電源用コネクター**

プリンターとスキャナーユニットを接続するケーブルを接続します。

10. **スキャナーユニット電源ケーブル**

スキャナーユニットの電源ケーブルです。電源ケーブルの片方はコンセントに差し込みます。

プリンター本体内部

1. **定着ユニット**

トナーを用紙に定着させるためのユニットです。

2. **定着オイルユニット**

定着ユニットに取り付けるオイルユニットです。

3. **廃トナーボトル**

印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

4. **中カバー**

感光体ユニット、現像ユニットを交換するときに開けます。

5. **感光体ユニット**

ブラック用の感光体ユニットが1本、カラー用の感光体ユニットが3本セットされています。

6. **現像ユニット**

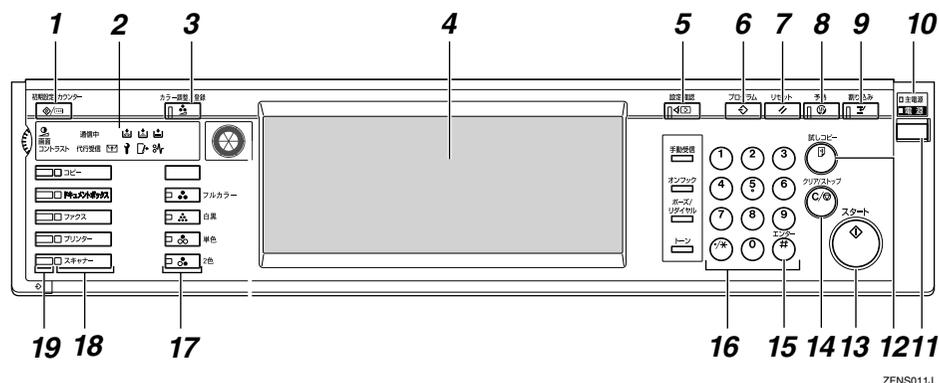
ブラック用の現像ユニットが1本、カラー用の現像ユニットが、イエロー、シアン、マゼンタ各1本セットされています。

7. **トナーカートリッジ**

プリンター本体奥から、マゼンタトナーカートリッジ（M）、シアントナーカートリッジ（C）、イエロートナーカートリッジ（Y）、ブラックトナーカートリッジ（K）の順番にセットします。

トナー補給のメッセージが表示されたら交換します。

操作部

これはフルオプション時のものです。

***1.* 【初期設定／カウンター】キー**

- 初期設定
  使用条件に合わせて、初期設定値や操作条件を変更します。
  ⇒ 使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞
- カウンター
  コピーまたは印刷した用紙の合計枚数を表示、印刷します。

***2.* 表示部**

エラーや機械の状態を表示します。

***3.* 【カラー調整／登録】キー**

印刷のカラーバランスやコントラストなどを調整します。⇒使用説明書＜コピー機能基本編＞

***4.* 操作画面**

各機能の操作を行うためのボタンが表示されます。また、操作の状態やメッセージを表示します。

⇒ P.9 「操作画面の構成」

***5.* 【設定確認】キー**

操作内容を表示します。

***6.* 【プログラム】キー**

よく使う設定をプログラムとして登録したり、そのプログラムを呼び出したりし ます。

⇒使用説明書＜コピー機能 応用編＞「プログラム」

⇒使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「プログラムを使う」

***7.* 【リセット】キー**

設定した内容を取り消します。

***8.* 【予熱】キー**

キーを押すと、予熱の状態になります。予熱の状態のときに押すと、予熱が解除されます。

***9.* 【割り込み】キー**

コピー中に割り込んで、別の原稿をコピーします。

***10.* 主電源ランプ、電源ランプ**

主電源ランプは、主電源スイッチが「On」になっているときに点灯します。

電源ランプは、本機の電源が入っているときに点灯します。

重要

- ❒ 電源ランプが点滅しているときは、電源を「Off」にしないでください。ハードディスクが故障する恐れがあります。

***11.* 【電源】キー**

電源を入れるときは、キーを押して電源ランプを点灯させせます。

電源を切るときは、キーを押して電源ランプを消灯させせます。

補足

- ❒ 初期設定中は**【電源】**キーは無効です。

12.【試しコピー】キー

複数部数をコピー・印刷するときに、ミスコピー・印刷を防ぐために、このキーを押して１部だけ出力できます。これによって、仕上がりを確認できます。

13.【スタート】キー

コピーを開始したり、ドキュメントボックスの読み取りや印刷を開始します。

14.【クリア／ストップ】キー

- クリア
  入力した数値を取り消します。
- ストップ
  コピーを中断したり、ドキュメントボックスの読み取りや印刷を中断します。

15.【#】キー（エンターキー）

入力した数値や指定を確定します。

16. テンキー

コピー枚数などの数値を入力します。

17. カラー機能キー

コピー機能を利用するときに「フルカラー」「白黒」「単色」「2 色」の操作画面に 切り替えます。

18. 機能キー

「コピー」「ドキュメントボックス」「ファクス」「プリンター」「スキャナー」の各機能の操作画面に切り替えます。⇒ P.13「操作画面を切り替える」

19. 機能別状態表示ランプ

機能キーで選択された機能のランプが点灯します。

- 黄色に点灯しているときは、その機能が選択されていることを示します。
- 緑色に点灯しているときは、その機能が動作中であることを示します。
- 赤色に点灯しているときは、その機能が中断していることを示します。各機能キーで画面を切り替え、表示されている指示にしたがって対処してください。

1

操作画面の構成

工場出荷時の設定では、電源を入れたときにコピーの操作画面が表示されます。

重要

- ❒ 画面に強い衝撃や力を加えないでください。破損の原因になります。約30N [*1]（約3kgf [*2]）が限界です。

  [*1] ：N=ニュートン

  [*2] ：kgf＝重量キログラム（1kgf　9.8N）

補足

- ❒ 優先して表示する操作画面は、変更することができます。設定方法については、使用説明書<システム初期設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版>「システム初期設定」を参照してください。

プリンター初期画面

【プリンター】キーを押すと、プリンター初期画面が表示されます。

＊オプション装着時の画面

1. **操作できる内容やエラーメッセージが表示されます。**

2. **現在の設定状態および選択・指定できる機能が表示されます。**

補足

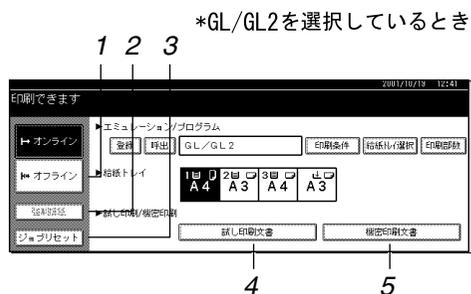
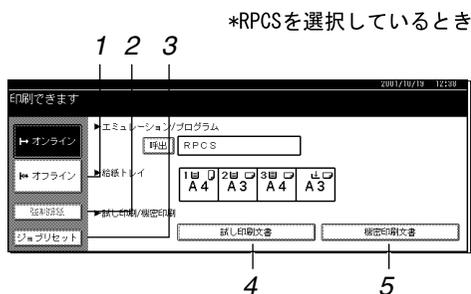
- ❒ 選択・指定されている項目は反転表示されます。
- ❒ エミュレーションでRPCSまたはPS3を選択しているときは、給紙トレイが反転表示されません。

オンライン、オフライン

❖ オンライン状態

「オンライン状態」とはパソコンからのデータを印刷できる状態のことです。
ここではRPCSとGL/GL2の場合を例に、画面を説明します。

*RPCSを選択しているとき

*GL/GL2を選択しているとき

1. **［オフライン］**

   オフライン状態に切り替えます。

2. **［強制排紙］**

   印刷されずに本機内に残っているデータを、強制的に印刷して排紙します。

   補足

   - ❒ オンライン状態では［強制排紙］のように半輝度表示されます。

3. **［ジョブリセット］**

   印刷している文書の受信データを消去し、印刷を中止します。

4. **［試し印刷文書］**

   パソコンから試し印刷を指定して送信したデータの2部目以降を印刷したり、印刷部数を変更することができます。

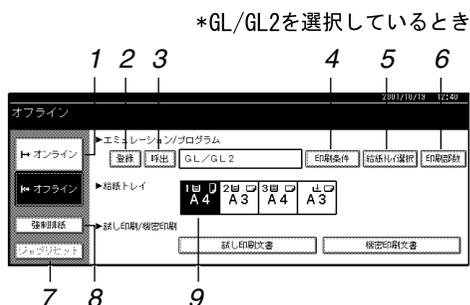
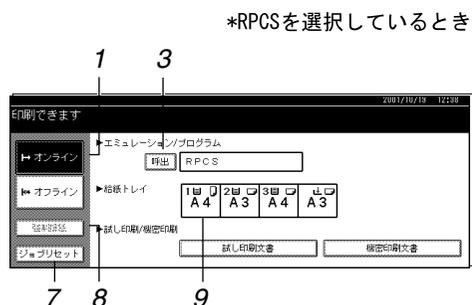
5. **［機密印刷文書］**

   パソコンから機密印刷を指定して送信したデータを印刷します。

❖ オフライン状態

「オフライン状態」とはパソコンからのデータを受信せず、各種設定を行う状態のことです。
ここではRPCSとGL/GL2の場合を例に、画面を説明します。

*RPCSを選択しているとき

*GL/GL2を選択しているとき

***1.* [オンライン]**

オンライン状態に切り替えます。

***2.* [登録]**

エミュレーション／プログラムを登録や削除する画面に切り替えます。

***3.* [呼出]**

オプションのエミュレーションがあるときや登録したプログラムがあるときに、エミュレーション／プログラムを切り替えます。

***4.* [印刷条件]**

選択しているエミュレーションの印刷条件を設定する画面に切り替えます。

***5.* [給紙トレイ選択]**

給紙トレイを切り替えます。

***6.* [印刷部数]**

印刷する部数を設定します。

***7.* [ジョブリセット]**

ヘキサダンプを設定しているときに押すと、ヘキサダンプを解除します。

補足

- ❒ 通常、オフライン状態では[ジョブリセット]のように半輝度表示されます。

***8.* [強制排紙]**

印刷されずに本機内に残っているデータを、強制的に印刷して排紙します。

***9.* 給紙トレイ表示**

現在選択されている給紙トレイが、反転表示されます。

ただしエミュレーションでRPCSまたはPS3を選択しているときは、反転表示されません。

補足

- ❒ オプションの装着状態や、選択しているエミュレーションによって、表示が異なる場合があります。
- ❒ [登録]、[呼出]、[印刷条件]、[給紙トレイ選択]、[印刷部数]は、オンライン状態から操作することもできます。オンライン状態で操作した場合、自動的にオフライン状態に切り替わります。
- ❒ オフライン状態にならないときは、システム初期設定の「インターフェイス設定／パラレルインターフェイス」で「信号線制御」を「プリンター優先」に設定してください。設定方法については、使用説明書<システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版>「システム初期設定」を参照してください。
- ❒ システム初期設定の「インターフェイス設定／パラレルインターフェイス」で「信号線制御」を「ジョブ受付優先」に設定しているときは、画面がオフラインになっていても印刷およびパソコンからのファクス送信を受け付ける状態になっています。

ドキュメントボックス初期画面

1. **操作の状態やメッセージが表示されます。**
2. **現在選択されている画面のタイトルが表示されます。**
3. **メモリーで読み取った原稿枚数、セットした枚（部）数、コピーした枚（部）数が表示されます。**
4. **操作のためのキーが表示されます。**
5. **蓄積したモードが表示されます。**

共通のキー操作

すべての画面で共通のキー操作は次のとおりです。

❖ キー一覧

［実行］［設定］［OK］	選択した機能や入力した数値を確定し、1つ前の選択画面に戻ります。
［取消］	選択した機能や入力した数値を取り消し、1つ前の選択画面に戻ります。
［▲前へ］［▼次へ］	1つのページにすべての機能が表示しきれないとき、前のページや次のページに切り替わります。
［確認］	メッセージ画面が閉じます。
［クリア］	入力した数値がクリアされ、入力前の状態に戻ります。画面は切り替わりません。
［終了］	選択した機能や入力した数値が確定して、1つ前の画面に戻ります。

操作画面を切り替える

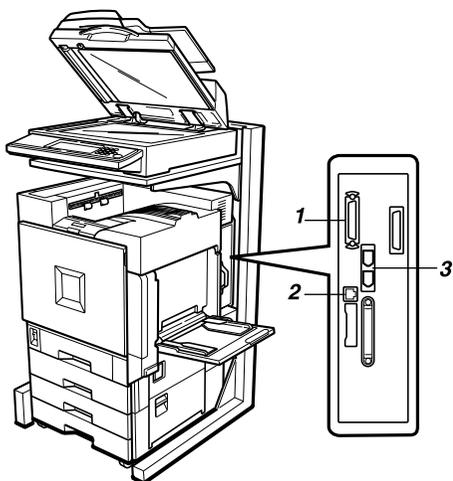
画面の左にある【**コピー**】キー、【**ドキュメントボックス**】キー、【**ファクス**】キー、【**プリンター**】キー、【**スキャナー**】キーを押して、操作画面を切り替えることができます。

工場出荷時の設定では、電源を入れたときに表示される画面はコピーの操作画面です。この設定は変更することができます。設定方法については使用説明書＜システム初期設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

制限

- ❒ 次のとき、機能の切り替えはできません。
    - 割り込みコピー中
    - ファクスの原稿読み取り中
    - ファクスの直接送信中
    - ファクスのオンフック中
    - スキャナーの原稿読み取り中
    - 初期設定中

パソコンと接続する

ここではパソコンとの接続方法について説明します。

1. **パラレルインターフェースコネクター**
   パソコンと接続するためのパラレルインターフェースケーブルを差し込むコネクターです。
2. **イーサネットケーブルコネクター**
   100BASE-TXまたは10BASE-Tのケーブルを差し込むコネクターです。ネットワーク接続のときに使います。
3. **IEEE1394インターフェースコネクター（オプション）**
   IEEE1394のケーブルを差し込むコネクターです。オプションの拡張1394ボードを装着していて、IEEE1394インターフェースで接続するときに使います。

パラレル接続する

パソコンとプリンターをパラレル接続するには、パラレルインターフェースケーブルを使用します。パラレルインターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、パラレルインターフェースケーブルを用意してください。

DOS/V機、PC98-NXシリーズ		タイプ4Bケーブル※
		タイプ4Sケーブル※
		USB変換プリンターケーブル※
PC9800シリーズ	パソコンにインターフェースケーブルが付属しているとき	付属品を使用する
	インターフェースケーブルが付属していないとき	パソコン側がハーフピッチ36ピンのときはタイプ1Bケーブル※
PC98ノート		NEC専用のインターフェースケーブル（NEC製「PC-9801N-19」または「LXT3」）

補足

❒ ※印のついているパラレルインターフェースケーブルは、リコーで取り扱っているインターフェースケーブルです。使用説明書＜システム設定編 2 スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「付録」を参照してください。

2

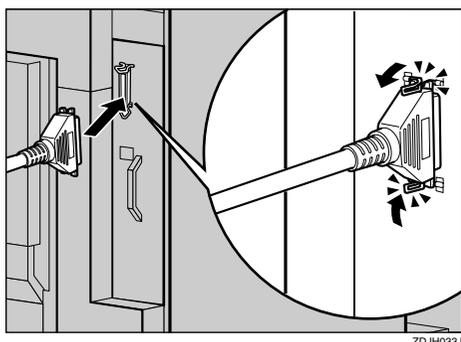
1 パソコンの電源を切ります。

2 本機の主電源スイッチを切ります。

重要

❒ 主電源スイッチを切る前に、P.19「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。

3 プリンター本体右側面のパラレルインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのコネクターを接続し、両側の金具で固定します。

ZDJH033J

4 パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。

重要

❒ パソコンに接続するコネクターの形状をよく確かめ、確実に固定してください。

5 本機の主電源スイッチを入れます。

6 パソコンの電源を入れます。

これで本機とパソコンが接続できました。次に、プリンタードライバーをインストールします。

参照

インストール方法については、使用説明書<プリンタークライアント編1>に記載されているWindows 2000へのインストール方法を参照してください。

補足

❒ Windows 95/98/MeまたはWindows 2000をご利用の場合、パソコンの電源を入れたときにプリンタードライバーのインストール画面が表示されることがあります。この場合は画面上の［キャンセル］をクリックしてください。詳細については、使用説明書<プリンタークライアント編1>に記載されているWindows 2000へのインストール方法を参照してください。

ネットワークに接続する

HUB（ハブ）などのネットワーク機器を準備してから本機にイーサネットケーブルを接続します。

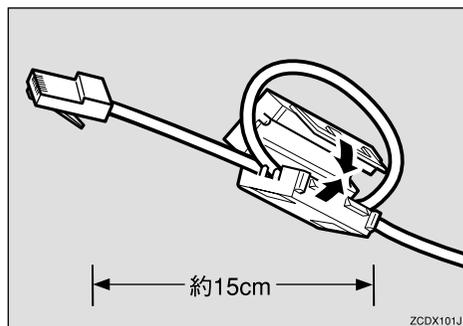
イーサネットケーブルコネクターには10BASE-Tまたは100BASE-TXのケーブルを接続します。

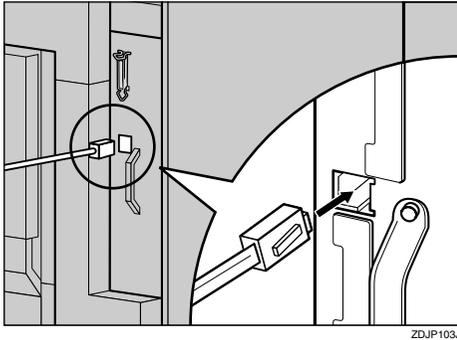
1 本機の主電源スイッチを切ります。

重要

❒ 主電源スイッチを切る前に、P.19「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。

2 本機にはイーサネットケーブルに取り付けるコアが同梱されています。ケーブルのプリンター本体側のコネクターから約15cmの位置に、図のような1重の輪を作り、コアを取り付けます。

ZCDX101J

3 **プリンター本体右側面のイーサネットケーブルコネクターにイーサネットケーブルのコネクターを接続します。**

ZDJP103J

4 **HUB（ハブ）などのネットワーク機器にケーブルのもう一方のコネクターを接続します。**

参照

ネットワーク環境の設定については、P.22「ネットワーク環境の設定について」を参照してください。

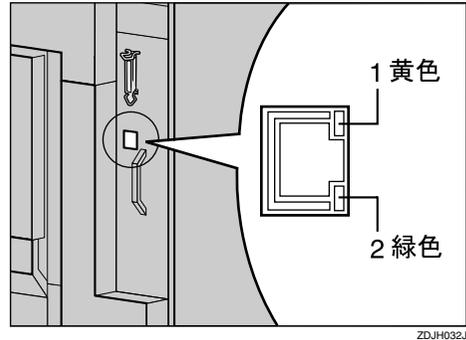
5 **本機の主電源スイッチを入れます。**

これで本機とパソコンが接続できました。次に、ネットワーク環境を設定してから、プリンタードライバーなどのソフトウェアをインストールします。

参照

インストール方法については、使用説明書＜プリンタークライアント編 1 ＞に記載されているWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0へのインストール方法を参照してください。

LEDの見かた

ZDJH032J

1. **100BASE-TXの動作時は点灯し、10BASE-Tの動作時は消灯します。**
2. **ネットワークに正常に接続していると、点灯します。**

IEEE1394インターフェースに接続する

オプションの拡張1394ボードを装着しているときは、IEEE1394インターフェースで接続することができます。

制限

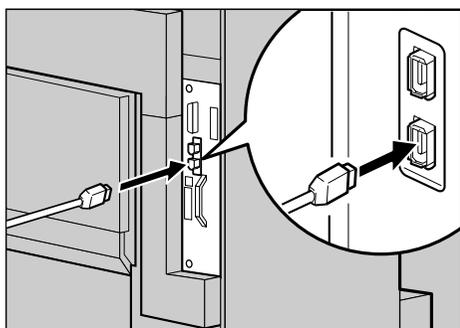
❒ IEEE1394インターフェースは、Windows 2000だけで使用できます。

1 **パソコンの電源を切ります。**

2 **本機の主電源スイッチを切ります。**

重要

❒ 主電源スイッチを切る前に、P.19「電源の入れかた、切りかた」を参照してください。

3 **プリンター本体右側面の拡張1394ボードのコネクターにIEEE1394インターフェースケーブルの一方のコネクターを接続します。**

補足

❒ 拡張1394ボードのコネクターは上下どちらでも接続可能です。

4 **パソコンにケーブルのもう一方のコネクターを接続します。**

5 **本機の主電源スイッチを入れます。**

6 **パソコンの電源を入れます。**

パソコンの電源を入れます。

これで本機とパソコンが接続できました。次に、プリンタードライバーをインストールします。

参照

インストール方法については、使用説明書<プリンタークライアント編1>に記載されているWindows 2000へのインストール方法を参照してください。

補足

❒ Windows 2000をご利用の場合、パソコンの電源を入れたときにプリンタードライバーのインストール画面が表示されることがあります。この場合は画面上の［キャンセル］をクリックしてください。詳細は、使用説明書<プリンタークライアント編1>に記載されているWindows 2000 へのインストール方法を参照してください。

電源の入れかた、切りかた

本機を始動するときは、**【電源】**キーを押して電源を入れます。

補足

- ❒ 本機には、電源「On」の状態で一定時間使用しないと、自動的に予熱の状態になったり、電源を「Off」にする機能があります。使用説明書<システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版>「システム初期設定」を参照してください。

❖ **電源について**

本機には**【電源】**キーと主電源スイッチの2つの電源があります。

- 主電源スイッチ（プリンター本体前面）
  本機を動作させるときには、まず主電源スイッチを「❙ On」側にし、主電源ランプを点灯させて、主電源を投入します。

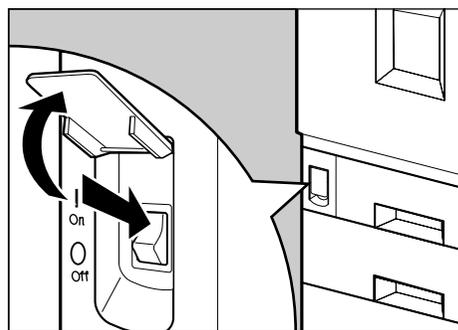
  重要

  - ❒ 主電源スイッチを「Off」にしたまま約1時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている内容が消去されます。使用説明書<ファクス機能応用編>「主電源を切るときは」を参照してください。

- **【電源】**キー（操作部右側）
  本機を動作させるときには、このキーを押して、電源ランプを点灯させると「On」になります。ウォームアップ終了後、コピーやファクスなどの操作ができます。

主電源の入れかた

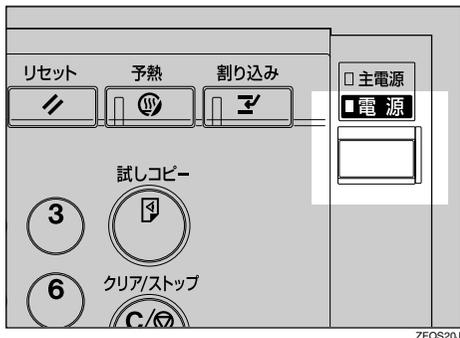
1 **電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認します。**

2 **プリンター本体の前面下側にある主電源スイッチのカバーを開け、主電源スイッチを「❙ On」側にし、主電源ランプを点灯させます。**

重要

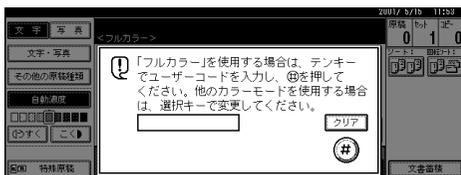
- ❒ 主電源スイッチを「On」にした直後に「Off」にしないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

2

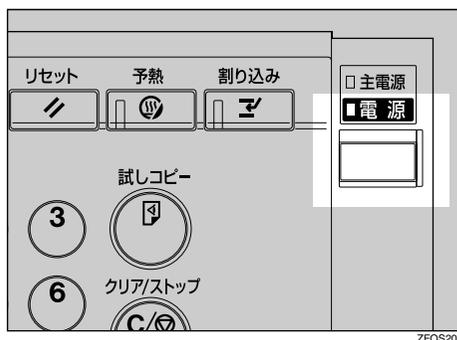
電源の入れかた

1 操作部の右側にある【電源】キーを押し、ランプを点灯させます。

操作画面が表示されます。

補足

- ❒ **【電源】**キーを押しても電源が入らないときは、主電源スイッチが「On」になっているか確認してください。「Off」になっているときは「On」にしてください。
- ❒ コピー機能画面が表示されずに、ユーザーコードの入力画面が表示されたときは、登録してあるユーザーコードをテンキーで入力し、［#］を押してください。ユーザーコードについては使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

電源の切りかた

1 原稿カバーまたは自動原稿送り装置(ADF)が閉じていることを確認します。

2 【電源】キーを押し、電源ランプを消灯させます。

補足

- ❒ **【電源】**キーを押しても、次のときは電源ランプは消灯しないで、点滅します。
  - 原稿カバー、自動原稿送り装置(ADF)が開いているとき
  - 外部の機器と通信中のとき
  - ハードディスクが動作しているとき

主電源の切りかた

操作の前に

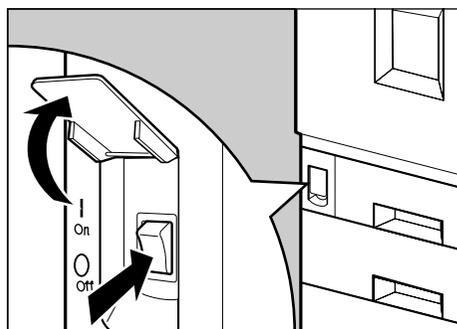
通常、主電源は「Off」にしません。

主電源を「Off」にする場合は、下記「重要」を参照の上、実行してください。

重要

- ❒ 電源ランプが点灯しているときや、点滅しているときは、主電源スイッチを「Off」にしないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- ❒ 電源プラグは、主電源スイッチを「Off」にしてから抜いてください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- ❒ 電源プラグを抜くときは、ファクス機能 の画面でメモリー残量の表示が100%で あることを確認してください。
- ❒ 主電源スイッチを「Off」にしたり、電源プラグを抜くときは、ファクス機能の画面でメモリー残量の表示が100%であることを確認してください。メモリー残量が100%未満の場合は、文書が蓄積されています。この状態で、主電源スイッチを「Off」にしたり、電源プラグを抜いて約1時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている内容が消去されます。⇒使用説明書＜ファクス機能 応用編＞「電源を切る／切れたとき」

1 電源ランプが消灯していることを確認します。

2 プリンター本体の前面下側にある主電源スイッチのカバーを開け、主電源スイッチを「○Off」側にし、主電源ランプを消灯させます。

ネットワーク環境の設定について

ネットワーク環境を設定する

本機の操作部を使って、ネットワーク環境を設定する方法を説明します。使用する機能に応じて、各設定項目を設定してください。

機能名	機能を使用するためのシステム初期設定項目
ファクス受信文書配信 *1	本体IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、配信サーバーIPアドレス、ファクス受信文書配信設定、有効プロトコル（[TCP/IP 有効] 固定）
スキャナー（TWAIN）	本体IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、有効プロトコル（[TCP/IP 有効] 固定）
スキャナー（配信）*2	本体IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、有効プロトコル（[TCP/IP 有効] 固定）、配信サーバーIPアドレス、再配信間隔時間設定、再配信回数設定
プリンター（ネットワーク接続、TCP/IP）*3	本体IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、ネットワークブート、有効プロトコル
プリンター（ネットワーク接続、NetWare）*3 *4	有効プロトコル、NWフレームタイプ

*1 **この機能を使用するためには、次のものが必要です。詳細については、使用説明書＜スキャナー機能編＞を参照してください。**
- **スキャナーユニット**
- Ridoc Document Router**（別売り）**

*2 **この機能を使用するには、次のものが必要です。**
- **スキャナーユニット**
- Ridoc Document Router Lt**（スキャナーユニットに同梱）または**Ridoc Document Router**（別売り）**

*3 **ご使用のネットワーク環境に合わせて設定します。詳細は、**P.23**「操作部を使って設定する」を参照してください。**

*4 NetWare 5.xJ**のピュアIPを使用しているときは、**TCP/IP**の設定が必要です。上の表の「プリンター（ネットワーク接続、**TCP/IP**）」に必要な設定をしてください。**

始めに基本的な操作方法を説明します。設定値の詳細については、使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

TCP/IPを利用できる環境で機器本体のIPアドレスを設定する場合は、同梱のRidoc IO AdminまたはWebブラウザを使用できます。ただし、機器のIPアドレスが工場出荷時のIPアドレス(011.022.033.044）の場合は、Webブラウザからの設定はできません。

重要

❒ 使用上の注意と、スキャナーユニットまたは拡張ボードに同梱されている「ダイヤルアップ関連機器をご使用のお客様へ」をあわせてお読みください。

操作部を使って設定する

ここでは､基本的な操作方法を説明しています｡使用する機能と環境に応じて、必要な項目を設定してください。

重要

- ❒ 設定は、必ずネットワーク管理者が行うか、ネットワーク管理者の立ち会いのもとで行ってください。

設定する項目と工場出荷時の値は、次のとおりです。

❖ インターフェース設定／ネットワーク

項目名	工場出荷時
本体IPアドレス	011.022.033.044
サブネットマスク	000.000.000.000
ゲートウェイアドレス	000.000.000.000
アクセスコントロール	000.000.000.000
アクセスマスク	000.000.000.000
ネットワークブート	NONE
有効プロトコル	すべて有効
NWフレームタイプ	自動選択

❖ ファイル転送設定

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2">工場出荷時</th></tr>
<tr><td>配信サーバーIPアドレス</td><td colspan="2">000.000.000.000</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ファクス受信文書配信設定</td><td>回線ごとの設定</td><td>• 回線1 しない
• 回線2 しない
• 回線3 しない</td></tr>
<tr><td>配信時同時印刷</td><td>しない</td></tr>
<tr><td>配信対象</td><td>全文書</td></tr>
<tr><td>配信エラー文書</td><td>—</td></tr>
<tr><td>再配信間隔時間設定</td><td colspan="2">300秒</td></tr>
<tr><td>再配信回数設定</td><td colspan="2">しない</td></tr>
</table>

ネットワークの設定をする

ネットワークで使用するために必要な設定を説明します｡各項目の詳細については､使用説明書＜システム設定編 2 スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「インターフェース設定／ネットワーク」を参照してください。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。

ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

2 ［システム初期設定］を押します。

3 ［インターフェイス設定］タブを押します。

4 ［有効プロトコル］を設定します。

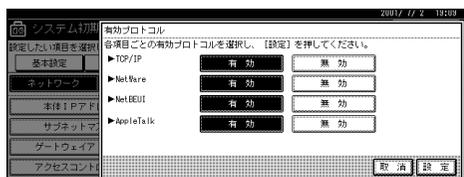
補足

- ❒ 設定するアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ TCP/IPプロトコルを使用するときは、IPアドレスを必ず設定してください。DHCPサーバーからIPアドレスを取得するときは設定する必要はありません。
- ❒ ご使用にならないプロトコルは無効にしておくことをお勧めします。
- ❒ NetWare5/5.1JのピュアIPでお使いになるときは、TCP/IPプロトコルを有効にしてください。

制限

- ❒ AppleTalkを使用するには、オプションのマルチモジュールまたはPS3モジュールのどちらかが必要です。

❶［有効プロトコル］を押します。

❷ プロトコルごとに、［有効］または［無効］を押します。

❸［設定］を押します。

この後の操作は、使用するプロトコルによって異なります。以下の手順のどれかを参照して、必要な値を設定してください。

- TCP/IPを使用する
- DHCPサーバーからIPアドレスを取得する
- NetWareで使用する

補足

- ❒ 設定が完了したら、手順5に進んでください。

TCP/IPを使用する

❶［ネットワーク］が反転表示になっていることを確認し、［本体IPアドレス］を押します。

❷ IPアドレスをテンキーで入力します。

補足

- ❒ 値を3桁ずつ移動したいときは、［←］［→］を押します。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

❸［設定］を押します。

❹［サブネットマスク］［ゲートウェイアドレス］［アクセスコントロール］［アクセスマスク］を設定します。手順❶で設定する項目を選択し、手順❷、❸と同じ操作をしてください。

DHCPサーバーからIPアドレスを取得する

DHCPサーバーを使ってIPアドレスを取得するときは、［ネットワークブート］を［DHCP］に設定します。

補足

- ❒ DHCPを使用するときは、サーバーの設定が必要です。使用説明書＜システム設定編2＞「付録」を参照してください。
- ❒ プリンターに毎回同じIPアドレスが割り当てられるように、IPアドレスをDHCPサーバーで予約してください。詳細については、使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「付録」を参照してください。
- ❒ 本体IPアドレスは、工場出荷時の設定でご使用ください。

❶ ［ネットワーク］が反転表示になっていることを確認し、［ネットワークブート］を押します。

❷ ［DHCP］を押し、［設定］を押します。

NetWareで使用する

NetWareで使用するときは、［NWフレームタイプ］を選択します。

選択できるフレームタイプは次のとおりです。

- 自動選択（工場出荷時）
- Ethernet Ⅱ
- Ethernet 802.2
- Ethernet 802.3
- Ethernet SNAP

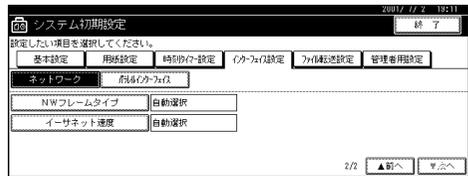
補足

❒ 接続するファイルサーバーと同じフレームタイプを選択してください。

❒ ［自動選択］にすると、起動後最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。その場合は使用したいフレームタイプを選択してください。

❒ NetWare　5.xJのピュアIP環境でお使いになる場合は、手順4でTCP／IPプロトコルを有効に設定してください。

❶ ［ネットワーク］が反転表示になっていることを確認し、［▼次へ］を押します。

❷ ［NWフレームタイプ］を押します。

❸ 使用するフレームタイプを選択し、［設定］を押します。

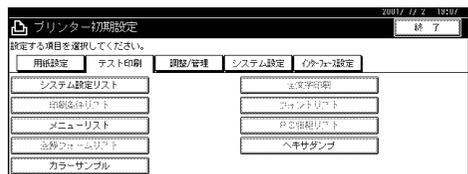
5 ［終了］を押します。

初期設定／カウンター画面に戻ります。

6 設定した内容を確認するために、システム設定リストを印刷します。

参照

システム設定リストの詳細については、使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

❶ ［プリンター初期設定］を押します。

❷ ［システム設定リスト］を押します。

システム設定リストが印刷されます。

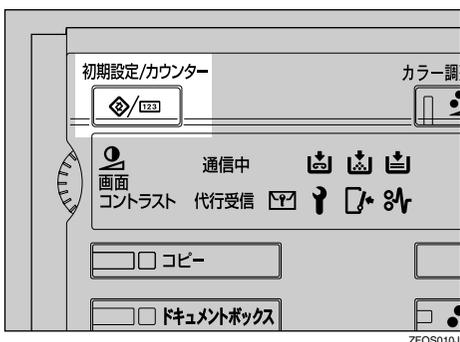
7 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**

設定した項目が有効になり、通常画面に戻ります。

ファイル転送の設定をする

ファクス受信文書配信、スキャナー機能でファイルを転送するために必要な設定を説明します。各項目の詳細については、使用説明書＜ファクス機能応用編＞「ファクス受信した文書をパソコンから見る」、または使用説明書＜スキャナー機能編＞「スキャナーの初期設定をする」を参照してください。

1 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**

ZFQS010J

初期設定／カウンター画面が表示されます。

2 **［システム初期設定］を押します。**

3 **［ファイル転送設定］タブを押します。**

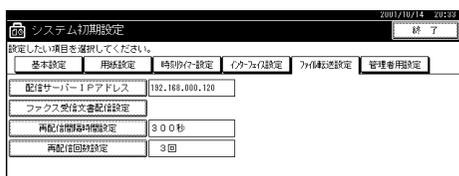
この後の操作は、設定する項目によって異なります。以下の手順を参照して、必要な値を設定してください。

- 配信サーバー IPアドレスを指定する
- ファクス受信文書配信設定をする
- 再配信間隔時間設定をする
- 再配信回数設定をする

補足

❒ 設定が完了したら手順**4**に進んでください。

配信サーバー IPアドレスを指定する

❶ **［配信サーバー IP アドレス］を押します。**

❷ **配信サーバーIPアドレスをテンキーで入力します。**

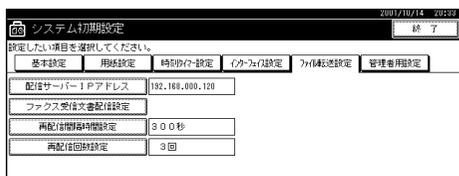
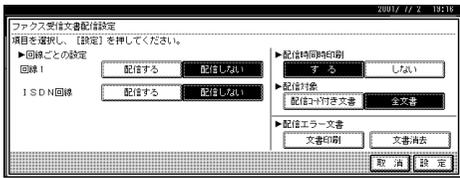
補足

❒ 値を3桁ずつ移動したいときは、［←］［→］を押します。

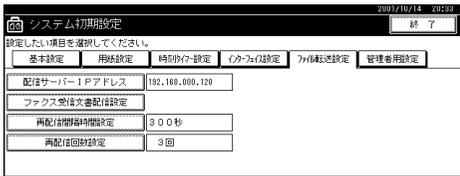
❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

❸ **［設定］を押します。**

ファクス受信文書配信設定をする

❶ **［ファクス受信文書配信設定］を押します。**

❷ **必要に応じて、各項目を設定します。**

- 回線ごとの設定
- 配信時同時印刷
- 配信対象
- 配信エラー文書

❸ **［設定］を押します。**

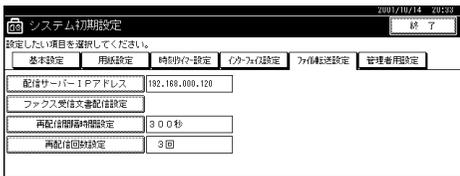
再配信間隔時間設定をする

❶ **［再配信間隔時間設定］を押します。**

❷ **再配信間隔時間をテンキーで入力します。**

補足

- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

❸ **［設定］を押します。**

再配信回数設定をする

❶ **［再配信回数設定］を押します。**

❷ **配信サーバーに再配信するときは、「する」を押し、再配信回数をテンキーで入力します。**

補足

- ❒ 再配信しないときは「しない」を押し、手順❸に進みます。
- ❒ 間違えたときは、［クリア］を押して入力し直します。

❸ **［設定］を押します。**

4 **【初期設定／カウンター】キーを押します。**

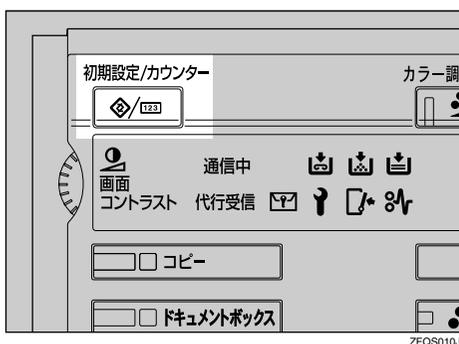
設定した項目が有効になり、通常の画面に戻ります。

2

テスト印刷する

プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。テスト印刷は本機だけの動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

ここではシステム設定リストの印刷を例に説明します。

1 【初期設定／カウンター】キーを押します。

初期設定／カウンター画面が表示されます。

2 ［プリンター初期設定］を押します。

3 ［システム設定リスト］を押します。

システム設定リストが印刷されます。

補足

- ❒ 正常に印刷できないときは、操作画面にエラーメッセージが表示されていないかを確認してください。表示されている場合は、使用説明書＜保守・運用編スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「こんなときには」を参照してエラーの対処をしてください。

4 オプション構成を確認します。

補足

- ❒ システム設定リストの詳細については、使用説明書＜システム設定編 2 スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

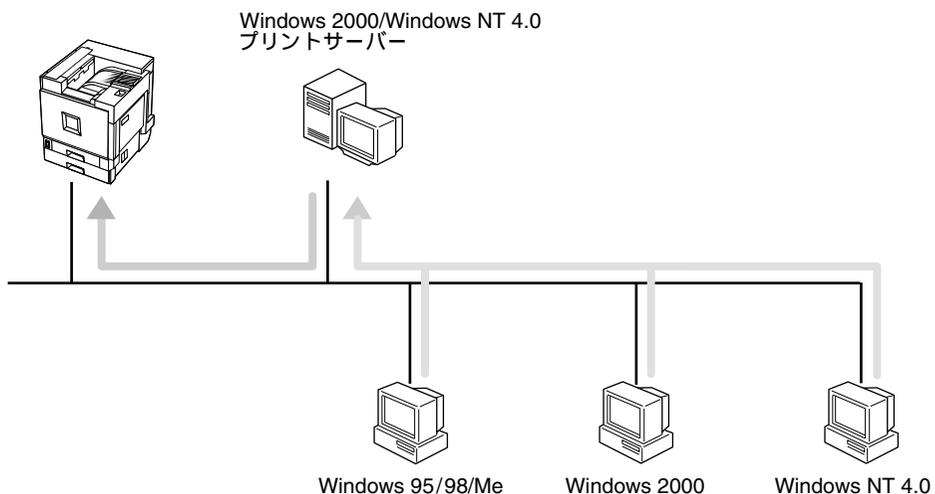
5 【初期設定／カウンター】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

3. プリンター環境別セットアップガイド

ご使用のネットワーク環境によって、セットアップ方法が異なります。対応する部分をお読みの上、正しく設定してください。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000/Windows NT 4.0サーバーを使って印刷する

1 Windows 2000/Windows NT 4.0**とプリンター間のプロトコルを決定します。**

2 **本機の操作部で、プロトコルを設定します。**

参照

P.23 「操作部を使って設定する」を参照してください。

3 **プロトコルの準備をします。**

参照

使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「Windows 2000プリントサーバーを準備する」または「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」を参照してください。

4 Ridoc IO Navi**とプリンタードライバーをインストールします。**

参照

使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「Windows 2000プリントサーバーを準備する」または「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」を参照してください。

5 プリンターの共有設定を行います。

参照

使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「Windows 2000プリントサーバーを準備する」または「Windows NT 4.0プリントサーバーを準備する」を参照してください。

6 クライアントでプリンターを共有します。

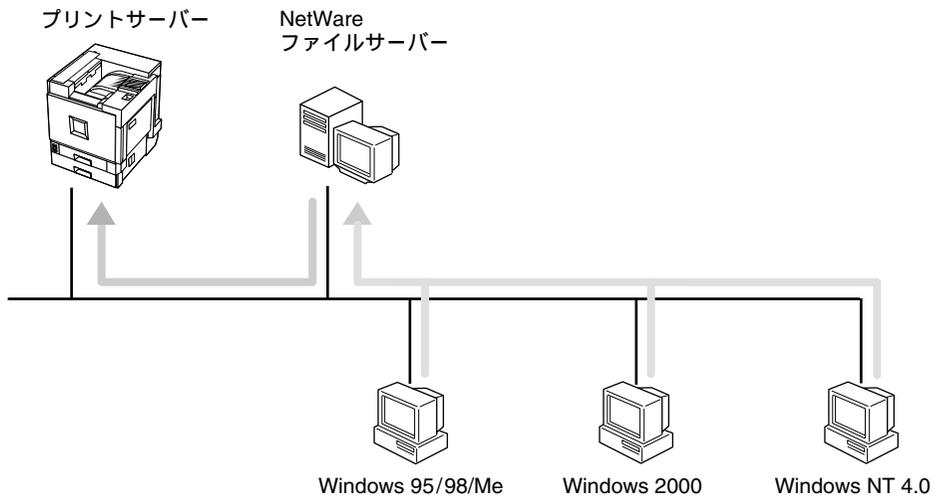
参照

使用説明書＜プリンタークライアント編1＞を参照してください。

NetWareのプリントサーバーを使って印刷する

プリントサーバーとして使用する場合とリモートプリンターとして使用する場合の設定方法を説明します。

プリントサーバーとして使用する場合

NetWareの環境でプリンターを使用する場合、プリンターにプリントサーバーの機能を持たせることができます。このとき、専用のNetWareプリントサーバーは必要ありません。

1 本機の操作部で、NetWareを設定します。

参照

P.23 「操作部を使って設定する」を参照してください。

2 NetWareでプリンターを設定します。NetWareのバージョンによってプリンターのセットアップ方法が異なります。

参照

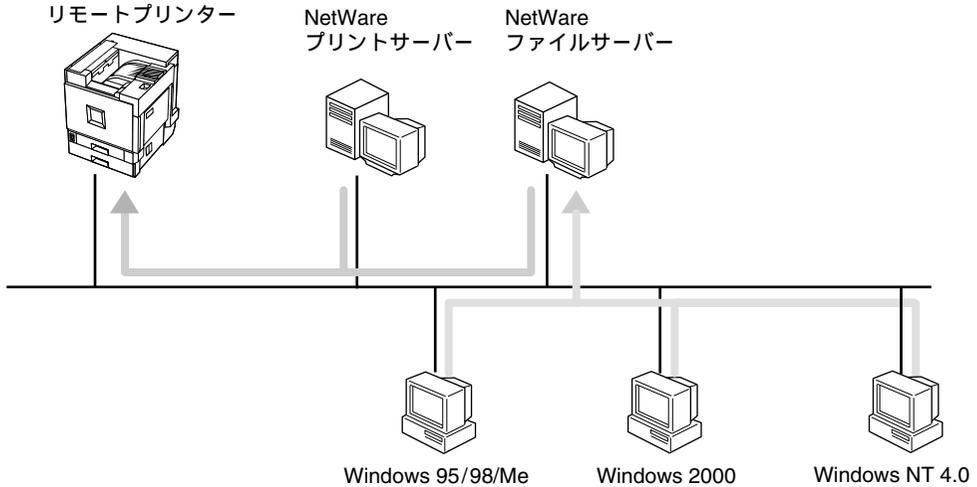
使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「NetWareサーバーを準備する」を参照してください。

3 クライアントをセットアップします。

参照

使用説明書<プリンタークライアント編1>を参照してください。

リモートプリンターとして使用する場合

専用のプリントサーバーを使用するときは、プリンターをリモートプリンターとして設定します。

1 本機の操作部で、NetWareを設定します。

参照

P.23「操作部を使って設定する」を参照してください。

2 NetWareでプリンターを設定します。NetWareのバージョンによって、プリンターのセットアップ方法が異なります。

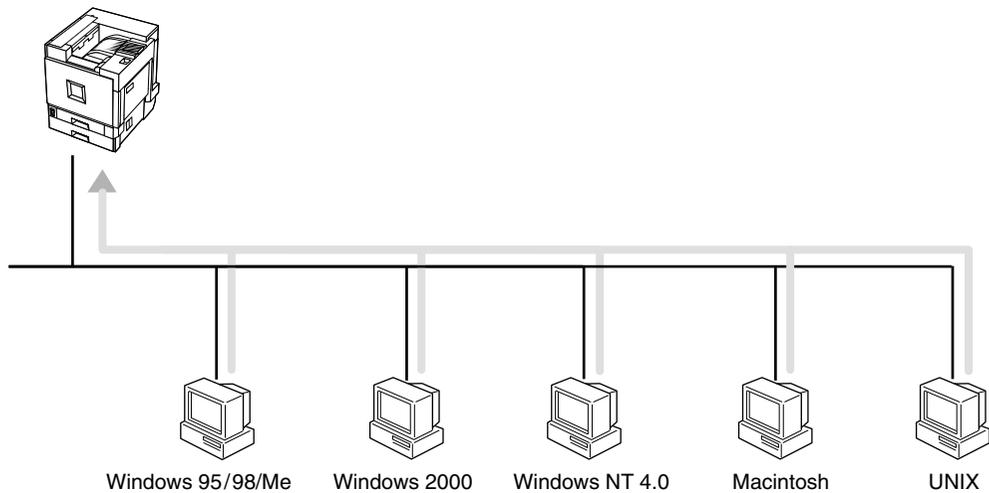
参照

使用説明書<システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版>「NetWareサーバーを準備する」を参照してください。

3 クライアントをセットアップします。

参照

使用説明書<プリンタークライアント編1>を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

1 使用するプロトコルを決定します。

2 本機の操作部で、プロトコルを設定します。

参照

P.23 「操作部を使って設定する」を参照してください。

3 クライアントをセットアップします。

参照

使用説明書<プリンタークライアント編1 >および<プリンタークライアント編2 >を参照してください。

コピーとして使う

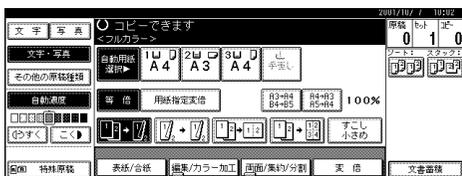
本機では、基本的なコピーのほか、変倍、集約などいろいろなコピーができます。さらに、オプションを装着することによって、使用できる機能を増やすことができます。詳細については、使用説明書＜コピー機能　基本編＞、＜コピー機能　応用編＞を参照してください。

参照

操作方法については、使用説明書＜コピー機能 基本編＞を参照してください。

コピーに切り替える

1 【コピー】キーを押します。

コピーの画面が表示されます。

ほかの機能を中断してコピーする

ほかの機能を中断してコピーすることができます。これを「割り込みコピー」といいます。

補足

- 「優先機能」や「ユーザーコード管理」の設定により、表示される画面が異なる場合があります。詳細については、使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

制限

- 初期設定画面の表示中、警告表示画面の表示中、ファクス送信原稿の読み取り中、およびスキャナーの読み取り中は、割り込みコピーはできません。

割り込みコピーをする方法は次のとおりです。

コピーまたはドキュメントボックスで読み取り中の場合

コピーやドキュメントボックスで原稿の読み取りを行っているときは、次の手順で割り込みコピーをすることができます。

制限

- 割り込みコピーをしているときに、さらに別の割り込みコピーをすることはできません。

1 【割り込み】キーを押します。

読み取りが中断され、割り込みコピーの画面に切り替わります。

2 読み取り中の原稿を取り除いて、割り込みコピーをする原稿をセットします。

3 【スタート】キーを押します。

割り込みコピーがスタートします。

4 コピー終了後、割り込みコピーの原稿と排出されたコピーを取り除きます。

5 【割り込み】キーを押します。

割り込みコピーをする前の画面に戻ります。

6 手順 2 で取り除いた原稿をセットして、【スタート】キーを押します。

割り込みコピーをする前の原稿の読み取りが再開されます。

コピー、ドキュメントボックス、ファクス、プリンターで印刷中の場合

印刷が開始されている場合、次の手順で割り込みコピーをすることができます。

1 【割り込み】キーを押します。

割り込みコピーの画面に切り替わります。

補足

- このときには、まだ印刷は中断されません。

2 割り込みコピーをする原稿をセットして、【スタート】キーを押します。

印刷が中断され､割り込みコピーがスタートします。

3 コピー終了後、割り込みコピーの原稿と排出されたコピーを取り除きます。

4 【割り込み】キーを押します。

割り込みコピーをする前の画面に戻ります。

5 割り込みコピーをする前の原稿をセットして、【スタート】キーを押します。

割り込みコピーをする前の原稿の印刷が再開されます。

ドキュメントボックスとして使う

コピー機能で読み取った原稿、ファクス送信で読み取った原稿は、ドキュメントボックス機能で蓄積することができます。蓄積した文書は、組み合わせて印刷することもできます。

また、ファクス送信で蓄積した文書をファクスで再送信することができます。

参照

ドキュメントボックスについては、使用説明書<システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版>「ドキュメントボックスの操作」を参照してください。

補足

- ❒ ファクス再送信の操作は、ファクス機能の画面で行います。

ドキュメントボックスで印刷する

ほかの機能が使用されていても、同時にドキュメントボックスで印刷することができます。

1 **【ドキュメントボックス】キーを押します。**

ドキュメントボックスの画面が表示されます。

2 **文書を選択して、【スタート】キーを押します。**

ほかの機能が使用されていても、同時に印刷が行われます。

補足

- ❒ オプションの2000枚フィニッシャー、またはサイド排紙トレイを装着した場合、機能ごとに排紙先を設定することができます。詳細については、使用説明書<システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版>「システム初期設定」を参照してください。

ドキュメントボックスに蓄積する

ドキュメントボックスの画面から文書を蓄積する

1 **原稿をセットします。**

2 **【ドキュメントボックス】キーを押します。**

ドキュメントボックスの画面が表示されます。

3 **［原稿読み取り］を押します。**

4 **条件を選択して【スタート】キーを押します。**

文書はコピー機能で読み取られ、ドキュメントボックスに蓄積されます。

コピーしながら文書を蓄積する

コピーの画面では、コピーしながら、文書を蓄積できます。

詳細については、使用説明書<コピー機能 応用編>を参照してください。

1 **原稿をセットします。**

2 **【コピー】キーを押します。**

コピーの画面が表示されます。

3 **［文書蓄積］を押して、条件を設定し、［OK］を押します。**

4 **【スタート】キーを押します。**

コピーと蓄積が、同時に開始されます。

4

ファクスの画面から文書を蓄積する

ファクスの画面では、文書を送信しながら蓄積したり、送信しないで蓄積だけを選ぶことができます。

制限

- ❒ ファクス機能で蓄積した文書は、ドキュメントボックス画面の一覧には表示されません。

詳細については、使用説明書<ファクス機能 応用編>

1 原稿をセットします。

2 【ファクス】キーを押します。

ファクスの画面が表示されます。

3 ［文書蓄積］を押します。

4 ［蓄積+送信］または［蓄積のみ］を選択し、［OK］を押します。

5 ［蓄積+送信］を選んだときは、宛先を入力します。［蓄積のみ］を選んだときは、手順6へ進みます。

参照

宛先入力については、使用説明書<ファクス機能　応用編>を参照してください。

6 【スタート】キーを押します。

蓄積と送信、または蓄積だけが開始されます。

ほかの機能を中断して蓄積する

ほかの機能の使用中も、ドキュメントボックスに文書を蓄積することができます。

コピー中の場合

1 【クリア／ストップ】キーを押します。

コピーが中断されます。

2 コピー中の原稿を取り除きます。

3 【ドキュメントボックス】キーを押します。

ドキュメントボックスの画面が表示されます。

4 蓄積する原稿をセットします。

5 ［原稿読み取り］を押します。

蓄積が開始されます。

補足

- ❒ ドキュメントボックス使用後は、**【コピー】**キーを押して、中断したコピー作業を再開してください。

ファクスとして使う

ファクスに切り替える

1 【ファクス】キーを押します。

ファクスの画面が表示されます。

補足

❒ ほかの機能の使用中も、受信データは自動的にメモリーに蓄積されます。ファクス画面に切り替える必要はありません。代行受信すると、「代行受信」のランプが点灯します。

参照

ファクス機能の操作方法については、使用説明書＜ファクス機能　基本編＞を参照してください。

4

プリンターとして使う

プリンターに切り替える

通常は、パソコンから印刷を指示して印刷します。本機の操作部で、プリンター機能に切り替える必要はありません。

ただし、次の場合は、本機の操作部でプリンター機能に切り替えて操作してください。

- 強制排紙
- ジョブリセット
- エミュレーション／プログラム呼び出し
- プログラム登録／削除
- 試し印刷
- 機密印刷

参照

操作方法については、P.9「操作画面の構成」および使用説明書＜プリンタークライアント編　補足版＞を参照してください。

1 【プリンター】キーを押します。

プリンターの画面が表示されます。

プリンターから印刷する

プリンターから印刷することができます。

補足

- ❒ システム初期設定「優先機能」を［プリンター］に設定されていない場合は、前の処理が終わってから印刷されます。詳細については、使用説明書＜システム設定編 2 スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

1 パソコンで印刷指示をします。

印刷が開始されます。

補足

- ❒ 機器利用者制限設定を行っている場合、プリンタードライバーでユーザーコードを入力する必要があります。

スキャナーとして使う

スキャナーに切り替える

読み取った文書をプリンターのメモリーに蓄積する機能のほか、「ネットワークTWAINスキャナー」と「ネットワーク配信スキャナー」の２種類の機能があります。

参照

どちらの機能を優先するか設定する方法については、使用説明書<スキャナー機能編>を参照してください。

制限

❒ 次のような機能で原稿を読み取っているときは、スキャナーを使用できません。
- コピー機能による原稿の読み取り中
- ファクス機能による送信原稿の読み取り中

ネットワークTWAINスキャナーで読み取る

1 原稿をセットします。

2 パソコンで読み取り条件を設定します。

3 パソコンで読み取りを指示します。

参照

操作方法については、使用説明書<スキャナー機能編>およびTWAINスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ネットワーク配信スキャナーで読み取る

1 原稿をセットします。

2 【スキャナー】キーを押します。

スキャナーの画面が表示されます。

3 [読み取り条件]、[原稿面／方向] などを設定します。

4 【スタート】キーを押します。

参照

操作方法については、使用説明書<スキャナー機能編>を参照してください。

文書をドキュメントボックスに蓄積する

スキャナーで原稿を読み取り、文書としてドキュメントボックスに蓄積します。

制限

❒ スキャナー機能で蓄積した文書は、ドキュメントボックス画面の一覧には表示されません。

参照

詳細については、使用説明書<スキャナー機能編>「ドキュメントボックスを使う」を参照してください。

1 【スキャナー】キーを押します。

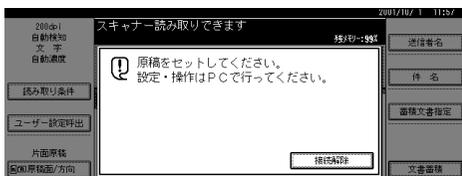
スキャナーの画面が表示されます。

4

2 ユーザーコードが設定されているときは、テンキーでユーザーコードを入力し、[#] を押します。

スキャナーの画面が表示されます。

補足

- ❒ ネットワークTWAINスキャナーの画面が表示されたときは、[接続解除] を押します。ネットワークTWAINスキャナーの画面は、スキャナー初期設定の「配信・蓄積/TWAIN優先設定」でネットワークTWAINが優先に設定されていると表示されます。工場出荷時の「配信・蓄積/TWAIN優先設定」は、「配信・蓄積」です。

3 原稿をセットし、[読み取り条件]、[原稿面／方向]、[文書蓄積] を設定します。

4 【スタート】キーを押します。

原稿が読み取られ、ドキュメントボックスに文書が蓄積されます。

補足

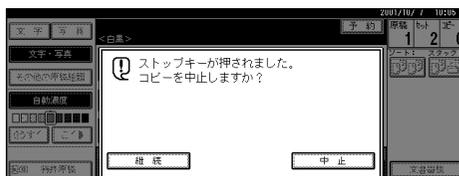
- ❒ 蓄積した文書をパソコンで利用するためには、Ridoc Desk 2000 / Ltが必要です。詳細については、Ridoc Desk 2000 / Ltのマニュアルを参照してください。

ほかの機能を中断してスキャンする

ほかの機能の使用中に、スキャナー機能を使用できます。

コピー中の場合

1 【クリア／ストップ】キーを押します。

確認の画面が表示されます。

2 [中止] を押します。

自動原稿送り装置(ADF)の原稿が自動的に排出されます。

3 自動原稿送り装置 (ADF) にセットされている原稿を取り除きます。

4 スキャナー機能の操作をして、【スタート】キーを押します。

参照

スキャナー機能の操作方法については、使用説明書<スキャナー機能編>を参照してください。

補足

- ❒ スキャナー機能の使用後は、**【コピー】**キーを押して、作業を再開してください。

4

ファクスのメモリー送信による原稿読み取り中の場合

1 【クリア／ストップ】キーまたは［読み取り中止］を押します。

ファクスの読み取りが中断されます。

補足

❒ クイックメモリー送信のときは、読み取り済みの原稿は送信されます。詳細については、使用説明書<ファクス機能　応用編>を参照してください。

2 ファクスの原稿を取り除きます。

3 スキャナー機能の操作をして、【スタート】キーを押します。

参照

スキャナー機能の操作方法については、使用説明書<スキャナー機能編>を参照してください。

補足

❒ スキャナー機能の使用後は、**【ファクス】**キーを押して、作業を再開してください。

ファクスの直接送信中の場合

1 【クリア／ストップ】キーを押します。

ファクスの直接送信が中断されます。

補足

❒ 読み取り済みの原稿は送信されます。

2 ファクスの原稿を取り除きます。

3 スキャナー機能の操作をして、【スタート】キーを押します。

補足

❒ スキャナー機能の使用後は、**【ファクス】**キーを押して、作業を再開してください。

参照

スキャナー機能の操作方法については、使用説明書<スキャナー機能編>を参照してください。

プリンターで印刷中の場合

プリンター機能を中断させなくても、スキャナーとして使用できます。

マルチアクセス

1つの機能を使用しているときに、その機能を中断することなくほかの機能（コピー、ドキュメントボックス、ファクス、プリンター、スキャナー）を実行することができます。このように複数の機能を同時に利用することを「マルチアクセス」といいます。たとえば、次のような運用が可能です。

- コピーの印刷中に、ドキュメントボックスの読み取りができます。
- ドキュメントボックスの印刷中に、プリンターのデータ受信ができます。
- ファクス受信中でも、コピーできます。
- プリンターの印刷中に、コピーの操作ができます。

補足

❒ どの機能を優先させるかは、「優先機能」で行います。工場出荷時は「コピー」が設定されています。詳細については、使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

❒ オプションの2000枚フィニッシャー、またはサイド排紙トレイを本機に装着した場合、機能ごとに排紙先を設定することができます。詳細については、使用説明書＜システム設定編2スキャナーユニットタイプ8100対応版＞「システム初期設定」を参照してください。

マルチアクセス動作

◎:「動作させたい機能」が優先機能として設定されている場合は、ページ単位で割り込み処理されます。「動作中の機能」が優先機能として設定されている場合は、動作中の機能が終了してから自動的に処理されます。

○:「動作させたい機能」が優先機能として設定されている場合は、ジョブ間で割り込み処理されます。「動作中の機能」が優先機能として設定されている場合は、動作中の機能が終了してから自動的に処理されます。

●:機能キー、**【割り込み】**キー、またはリモートの切り替え(スキャナーの場合)で「動作中の機能」を中断させると、処理が可能になります。

▲:動作中の機能が終了してから、自動的に処理されます。

×:動作中の機能が終了しないと、操作できません(同時に操作／動作はできません)。

動作中の機能 ＼ 動作させたい機能			*1	コピー(予約コピー含む:操作のみ)				割り込みコピー		ファクス						プリンター				スキャナー		
										送信操作	送信			受信		データ受信	印刷					
				操作	通常コピー	ステープルコピー	ソートコピー	操作	コピー		メモリー送信の原稿読み取り	メモリー送信	直接送信	受信	受信データの印刷		通常印刷	ソート印刷	ステープル印刷	操作	読み取り	
			カラーモード	BW CL	BW CL	BW CL	BW CL	BW CL	BW CL	BW	BW	BW	BW	BW	BW	BW CL	BW CL	BW CL	BW CL	BW CL	BW	CL
コピー	操作中		BW CL	×	×	×	×	●	●	●	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●
	通常コピー中	(読み取り中)	BW CL	◎	▲	▲	▲	●	●	●	●	◎	●	◎	▲	◎	▲	▲	▲	●	●	●
	通常コピー中	(印刷中)	BW CL	◎	▲	▲	▲	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	▲	◎	▲	▲	▲	◎	◎	◎*3
	ステープルコピー中	(1部目原稿読み取り中)	BW CL	◎	▲	▲	▲	●	●	●	●	◎	●	◎	▲	◎	▲	▲	▲	●	●	●
	ステープルコピー中	(2部目以降印刷中)	BW CL	◎	▲	▲	▲	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	▲	◎	▲	▲	▲	◎	◎	◎*3
	ソートコピー中	(1部目原稿読み取り中)	BW CL	◎	▲	▲	▲	●	●	●	●	◎	●	◎	▲	◎	▲	▲	▲	●	●	●
	ソートコピー中	(2部目以降印刷中)	BW CL	◎	▲	▲	▲	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	▲	◎	▲	▲	▲	◎	◎	◎*3
割り込みコピー	操作中		BW CL	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	▲	◎	▲	▲	▲	×	×	×
	コピー中		BW CL	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	▲	◎	▲	▲	▲	×	×	×
ファクス	送信操作中		BW	●	●	●	●	●	●	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	●	●	●
	送信	メモリー送信の原稿読み取り中	BW	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×
		メモリー送信中	BW	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		直接送信中	BW	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×
	受信	受信中	BW	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		受信データなどの印刷中	BW	◎	○	○	○	●	●	◎	◎	◎*2	◎*2	◎*2	▲	◎	▲	▲	▲	◎	◎	◎*3
プリンター	データ受信中		BW CL	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	◎	◎	◎
	印刷	通常印刷中	BW CL	◎	○	○	○	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	◎	◎	◎*3
		ソート印刷中	BW CL	◎	○	○	○	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	◎	◎	◎*3
		ステープル印刷中	BW CL	◎	○	○	○	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	▲	▲	▲	◎	◎	◎*3
スキャナー	操作中		BW CL	●	●	●	●	●	●	●	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		▲	▲
	読み取り中		BW	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	▲	▲	▲
			CL	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	◎*3	◎	◎*3	◎*3	◎*3	▲	▲	▲

JCF-ZFEH850J

*1 BL＝モノクロモード、CL＝カラーモードです。

*2 並行してファクス受信が行われているときは、ファクス受信が終了するまで「動作させたい機能」は処理されません。

*3 スキャナー読み取りの機能が優先されます。

搭載されているソフトウェアの著作権に関する情報

expat(Version 1.1)について

- 本製品に搭載しているコントローラーなどのソフトウェア（以下、ソフトウェアといいます）には、expat Version 1.1(以下 expat1.1)を使用しています。
- ソフトウェアに利用されている expat1.1 のソースコードに対し、株式会社リコーは改変を行っておりません。なお、expat1.1のソースコードは、次のURLが示すFTPサイトより入手可能です。
  ftp://ftp.jclark.com/pub/xml/expat1_1.zip
- expat1.1 は MPL1.1 に従って公開されています。なお、MPL1.1の条件は、次のURLが示すWebサイトより入手可能です。
  http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html
- ソフトウェアは MPL1.1 に定義される Larger Workに相当します。ソフトウェアの利用に関し、MPL1.1と異なる使用許諾条件が定められている場合、当該規定はソフトウェアよりexpat1.1を除いた部分に対して適用されます。
- ソフトウェアの使用に関して、お客様に使用料などをご負担いただく場合、当該使用料などはソフトウェアよりexpat1.1を除いた部分に対して課せられています。
- expat1.1を含むソフトウェアに関するサポートと保証などは株式会社リコーが行うものであり、expat1.1の開発者であるJames Clark氏には一切の責任および義務はありません。
- expatに関する情報は次のURLが示すWebサイトより入手可能です。
  http://www.jclark.com/xml/expat.html

NetBSDについて

1.Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at http://www.netbsd.org/.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

2.Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors

JPEG LIBRARYについて

The software installed on this product is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

索引

アルファベット索引

expat(Version 1.1) **45**
IEEE1394インターフェースコネクター **15**
IEEE1394インターフェースに接続する **18**
JPEG LIBRARY **46**
LEDの見かた **17**
NetBSD **45**

あ行

イーサネットケーブルコネクター **15**
急ぎのコピーをする **33**
［印刷条件］**11**
［印刷部数］**11**
ADF **3**
【#】キー（エンターキー）**9**
オフライン **11**
［オフライン］**10**
おもなオプションの略称 **1**
オンライン **10**
［オンライン］**11**

か行

各部の名称とはたらき
- 前面・右側面 **3**
- 操作部 **8**
- 背面 **6**
- プリンター本体内部 **7**
- 側面 **5**

画面の切り替え **13**
画面の構成 **9**
環境別セットアップガイド **29**
機能キー **9**
機能別状態表示ランプ **9**
［機密印刷文書］**10**
［給紙トレイ選択］**11**
給紙トレイ表示 **11**
［強制排紙］**10, 11**
共通のキー操作 **12**
【クリア／ストップ】キー **9**
ケーブルの接続 **16**
原稿ガラス **3**
この本の読みかた **1**
コピーとして使う **33**
コピーに切り替える **33**

さ行

システム設定リスト **25**
自動原稿送り装置(ADF) **3**
主電源の入れかた **19**
主電源の切りかた **21**
主電源ランプ **8**
【初期設定／カウンター】キー **8**
［ジョブリセット］**10, 11**
スキャナーとして使う **39**
スキャナーに切り替える **39**
【スタート】キー **9**
操作画面 **8**
操作画面を切り替える **13**

た行

［試し印刷文書］**10**
【試しコピー】キー **9**
著作権 **45**
テスト印刷する **28**
テンキー **9**
【電源】キー **4, 8, 19**
電源の入れかた **20**
電源の切りかた **20**
電源ランプ **8**
［登録］**11**
ドキュメントボックスで印刷する **35**
ドキュメントボックスとして使う **35**
ドキュメントボックスに蓄積する **35**

な行

ネットワークTWAINスキャナーで読み取る **39**
ネットワーク環境を設定する **22**
ネットワークに接続する **16**
ネットワーク配信スキャナーで読み取る **39**

は行

パソコンと接続する **15**
パラレルインターフェースコネクター **15**
パラレル接続する **15**
表示部 **8**
ファクスとして使う **37**
ファクスに切り替える **37**
複合機能の操作 **33**
プリンターとして使う **38**
プリントサーバーを使う場合 **29**
NetWareサーバー **30**
Windows 2000/Windows NT 4.0サーバー **29**
プリントサーバーを使わない場合 **32**
付録 **45**

ま行

マルチアクセス **42**

や行

【予熱】キー **8**
［呼出］**11**

ら行

【リセット】キー **8**

わ行

【割り込み】キー **8**

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

IPSiO Color8150スキャナーユニットタイプ8100対応版　使用説明書〈システム設定編1〉

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店または最寄のサービス実施店にご相談ください。修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO（イプシオ）ダイヤル」にご連絡ください。

FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）

- 受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページ、または@niftyのリコーファンフォーラムから入手することができます。
- インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/
- @nifty/リコーファンフォーラム：>GO FRICOH ⏎

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

2002年1月　G570-8514